

# 1年学年通信

能美市立根上中学校  
令和元年(2019年)  
11月21日(木) No. 34

## 「文化祭」感動を作り出し、幹・駅年と成長しよう!

### 「初めての文化祭」

中学生になって初めての文化祭で心に残ったことは二つあります。

一つ目は、一日目の演劇です。キャストやスタッフのみなさんで創り上げた演劇は、とても感動しました。キャストのみなさんもスタッフのみなさんも放課後に残って毎日練習していた努力が見えてきて、本当にすごいと思いました。スタッフのみなさんは本番では、目立つことも出来ないので、裏では一生懸命頑張って、あの演劇はキャストのみなさんだけでは決して創り上げることが出来ないものだと思いました。みんなで協力して創り上げたものは最高に素晴らしい演劇でした。あの演劇を見て、私も3年生になったら、何か仕事をして、みんなに喜んで貢えるものを創りたいと思いました。

二つ目は、合唱コンクールです。最優秀賞を取るということを目標に毎日頑張っていました。時には悩み・苦しんだこともあります。全員で創るから最高な合唱になるのに、声を出してくれない人や、口を開けてくれない人がたくさんいて、強く言ってしまったりしたこともあります。私はソプラノパートリーダーというのもあって、きつい言葉をぶつけることも多かったです。それでもみんなは、ついてきてくれました。辛いことも苦しいことも乗り越えて創り上げた合唱は、最高なものになっていたと思います。コンクールでは緊張して自分の思い通りに歌えなかつた人もいたと思います。それでも全員で創った合唱は素晴らしいものになったと思います。結果は優秀賞で、最優秀賞は取れなかったけれど、とても心に残る合唱コンクールになりました。

今回の文化祭では、たくさん学ぶことがありました。みんなで協力することの良さ、そして、先輩達のすごさを知りました。私も先輩達のように全力で、全員で創る最高な文化祭を創り上げられる学年になりたいと思いました。  
(1組 女子)



### 「初めての文化祭」

中学校最初の文化祭は、思い出に残る良い文化祭になり、その良さを知ることが出来ました。

文化祭一日目は3年生を中心とする演劇を見て、気持ちがこもっていて見ている自分も、その物語の中にいるかのように感じられて、とても面白かったです。文化祭を成功させるために、頑張って何度も放課後や休み時間などの時間を使って練習していたことがわかりました。また、演劇の裏でも、背景や照明などのたくさんの準備をしていて、その演劇の裏で支えていなければ演劇は成功しなかったと思うので、支えていた人達にも感謝したいです。

二日目の合唱コンクールでは、優秀賞で最優秀賞ではなかったですが、自分のクラスでは、一人一人がしっかり声を出して、一人一人のハーモニーをタントに響かせることが出来たと思います。課題曲が決まって、最初はみんながまとまらず、声があまり出ていなかったけれど、練習を毎日続けて、その日の反省をクラスみんなで直していく、良い合唱が出来たので良かったです。また、2年生や3年生の合唱を聴いて、1年生とは違う大きな声を出していて、やっぱりスゴイと思いました。来年は、1年生が驚くような合唱をしたいと思いました。

合唱コンクールと演劇の文化祭でどちらにも共通していることがあると思いました。それは、どちらも裏で支えてもらって成功しているということです。また、文化祭以外に裏で支えて貰っていることもあるので、支えて貰っていることに感謝したいと思います。 (1組 男子)



## 「合唱コンクールを終えて」

1年2組は声の大きい人や高い声を出せる人が特別多くいるわけではありませんでした。勿論毎日ある放課後練習、授業での練習だって皆やる気を失い、歌っているふりをしている人だっていたと思います。歌に対して無関心な私達の心を変えてくれたのは、私達自身でした。1年2組はやる気のない人が殆どだったけれど、一生懸命歌っている人も数人ではありました、本気で歌っている人もいました。最初の頃はほぼその人達だけの声が聞こえて、全員が本気で歌ういうのは夢のそのまた夢のようにも思えました。

練習を始め一週間位立った時、ついに限界が来てしまいました。今まで頑張っていた人が皆の分まで歌ったせいで、教室中は歌と咳で一杯になりました。朝起きてから喉が痛かったけれど薬を飲んできた、と言っている人がいました。歌っているときも咳はいつもより低いソプラノ、地声のアルト、いつもより少しかすれた男子の声が私の耳に残っていました。その咳を聞く度に頑張ってくれた人達が「歌え」と訴えているような、私達に託しているような感じに思えました。そうして、私達は放課後練習や授業での練習を歌い続けました。また、心が変わらない人もいたと思うけれど、心を変えることが出来た人も少なくはなかったと思います。

そして合唱コンクールの日になりました。私は歌を歌っている時、私達の成長に気づきました。皆クラスの人を信じて一生懸命歌っていました。結果は見事最優秀賞でした。でも私達はそれ以上に得たものがあります。それは「努力すれば夢は叶う」ということです。私は1年2組で合唱してきてこのことを学びました。最初の合唱コンクールが1年2組で良かったと、心の底から思うことが出来ました。 (2組 女子)



## 「合唱コンクールを終えて」

僕は、合唱コンクールを終えて「合唱コンクールに出られて本当に良かったな」と思いました。僕達のクラスは優勝したけれど、練習にすごく集中してクラスみんなで協力したから出来たのではないかと考えました。僕達の努力は音楽室で練習する時も一つ一つの曲に集中して歌えていたからです。1年2組の合唱目標は「合唱魂」というものでしたが、1年2組の一人一人に合唱魂があったと思って燃えました。それは指揮者や伴奏者などもすごく努力がったり、歌う人達も喉をカラカラにしてまで歌っていました。この様子の中に入って、僕も「頑張らないといけないのだな」と感じることがありました。クラスの絆も深まって「良い合唱を創っていきたいな」と思ってきました。

クラスで「Believe」の意味について考えて感動をさせることは、どうすれば良いのかを考えたことで、感動する歌になったのかなと思いました。

どのクラスの歌もすごくて、1年1組の「Let's search for tomorrow」は、感動してすごく上手だと思いました。3年生の全員合唱は、最後の合唱だったので、最高に楽しんでいて良かったです。

一人一人が頑張れたからこそ、成功出来た合唱コンクールであり、良かったです。これで、協力する大切さと、協力で取った喜びを分かち合えた良さがしっかり解って良かったです。次の合唱コンクールでも、クラスのメンバーが変わってしまうけれど、最優秀賞を取りたいです。 (2組 男子)

## 「文化祭を終えて」

文化祭を終えて僕は心に残ったことが四つあります。

一つ目は演劇「リア王」です。中学生には出来ない様な迫力と声の大きなところが心に残ったし、素晴らしかったです。自分も3年生になったら、やってみたいなと思いました。

二つ目は合唱コンクールです。理由は合唱コンクールの時、声は大きいけれど、音程があまり取れていなかった。日々の音楽の授業や放課後の練習で、悪いところや良いところを言い合い直していました。本番の1年生の部が始まった途端、すぐにお腹が痛くなったり、とっても緊張しました。1年2組は自由曲の「ビリーブ」という素晴らしい曲を歌いました。ピアノが鳴った途端緊張てきて頭の中では「しっかり歌えるかな」「失敗したらどうしよう」という不安がっただけれど、自分を信じて思い切り歌いました。 ~ (中略) ~

四つ目は、合唱コンクール最後の3年生の全体合唱です。理由は、3年生だけで歌うと、クラスで歌うよりも百倍も違ったからです。迫力とまとまりがありました。自分も3年生になったら、今の3年生を越えたいです。 (2組 男子)

## 「文化祭の振り返り」

私は初めて根上中学校の文化祭を体験しました。その中で大切なことにたくさん気づきました。まず、文化祭一日目の演劇です。私は初めて中学生だけで行う演劇を見ました。演劇の感想を一言で言うと「尊敬」です。3年生にとっては最後の文化祭で、一生懸命に取り組んでいることは、私にも解りました。あの長い台詞を覚えて、立つ位置や振る舞い方など普通の生活では言わない言葉などがたくさんあるのに、間違えたり・詰まったりすること無く言えていてすごかったです。キャストの方は、大変だったと思うけど、楽しそうに演劇をしていました。スタッフの

方は、舞台には立たないけれど、裏で忙しそうに動いているのが解りました。キャスト・スタッフの方々も達成感を持って終わっていたと思います。

次に文化祭二日目の合唱コンクールです。演劇では観客として参加したけれど、合唱コンクールでは、ステージに立って合唱しました。私のクラスの1年3組は、一番初めでした。一番初めはメリットもあるしデメリットもあります。デメリットがある中でも最高の合唱ができたので、私は良かったと思います。

この二日間の文化祭で気づいたこと。それは演劇も合唱コンクールも根上中学生全員がいないと成り立たないということです。演劇と合唱コンクールは、ステージに立つ人と観客の人がいないと成り立ちません。どちらか片方が欠けていれば、それは失敗に終わります。私はクラスの仲間・友達・学校のみんなと文化祭を成功させることができて嬉しいです。                 (3組 女子)

## 「思い出の合唱コンクール」

「1年3組は舞台に上がって下さい」。中学校最初の合唱コンクールが始まりました。1年3組はトップバッターで、発声練習をした後すぐに舞台へ上がった時の皆の顔は、まだ緊張していました。自分も「皆で練習したから大丈夫」とは分かっているけど、緊張していました。そして、課題曲が終わり自由曲になって、自分は伴奏者なのでピアノに向かいました。伴奏者なので歌うことは出来ないけど、ピアノに全ての思いを込め弾くことが出来ました。皆も「上手く歌えた」とか言っていたので安心しました。そして、緊張の結果発表。ソプラノのメンバーで手を繋ぎ必死に願っていたけれど、賞には入れませんでした。でも、自分は結果が全てではないと思います。皆と一緒に歌ったこと、練習したこと、各パートで指摘し合い協力したことが、皆の思い出になったと思います。そして自分は伴奏「大切なものの」をしてみて、歌に合わせるので一杯になって、自分の表現が出来ない時がありました。でも皆と練習したことで、少し慣れてくるようになると、皆が「上手い」とか「カッコイイ」とか言ってくれた時、自分は「1年3組の伴奏者になって良かったな」と思いました。

いよいよ合唱コンクールも終わり、全員で「宿命」を歌います。ソプラノメンバーで肩を組んで歌いました。最高に楽しかったです。そして合唱コンクールを終えて、クラスの仲がもっと深まつたので、これからも学年一、クラスの仲が良く楽しいクラスにしていきたいです。

(3組 女子)

## 「文化祭を終えて」

僕は、文化祭を終えて感じたことがいくつかあります。一日目の演劇や二日目の合唱コンクールで、一杯感動することができました。

まず一つ目は、演劇です。演劇ではキャスト・照明・大道具・小道具・背景など様々な人がいて、他の人を感動させ、おもしろい演技が出来るのだと思いました。予想以上に面白かったので、来年か再来年に演劇に出てみたいと興味が出てきました。

次に二つ目は、合唱コンクールです。まず、指揮者台の上から見た景色は最高でした。挨拶の時前を見たら人が一杯いて、ものすごく緊張しました。多分そのせいで指揮台に登るとガチガチになってしまい、全然手が振れませんでした。そして、他のクラスを見ていると。皆堂々と歌っていたり手を振っていたり、非常に素晴らしい発表だと思いました。特に1年生の部では。1組

- ・2組が良かったのだと分かりました。来年はそれを真似したいと思いました。  
僕は今年の文化祭で二つのことを感じました。僕自身は初めての文化祭でしたが、たくさん感動することが、思っていた以上にあって文化祭に益々興味が沸いてきました。来年・再来年は文化祭に参加して、他の人達を楽しませる立場に是非立ってみたいと思いました。そして今年よりももっと最高の文化祭にして楽しませてあげられたら良いな！と思いました。（4組 男子）

## 「初めての文化祭を終えて」

自分たち1年生にとっては「文化祭」という行事そのものが初めてで、何をどうすれば良いのかよく分からぬということが素直な気持ちでした。それでも先輩方の活動や努力を見て、文化祭が近づいていると実感しました。それに伴い10月から合唱練習が始まりました。ですが、そう簡単に物事が上手く進む訳もなく、解決しなくてはならない課題がいくつもありました。自分達のクラスは他のどこのクラスと比べても劣っていたと思います。私語が多いし声も小さいし、どうしたって心が一つにならないそんな状態でした。他のクラスは日進月歩しているのに、どうして自分達のクラスだけ、という感情が自分の中に生まれるのに、そう時間はかからなかったと思います。でも、合唱コンクール前日、3年2組の練習を見たことで、クラスには今までと違う雰囲気が芽生えました。それからのほんの数回の練習は、これまでの練習と全然違い、みんなの心が一つになった気がしました。当日は残念な結果だったけれど、2・3年生のお陰で良い文化祭になったと思います。演劇もキャストだけでなく、スタッフがいたから成り立っていたし、練習の量も多くて大変だったと思います。でもその大変さを感じさせない程、キャストもスタッフの人々も素敵な笑顔で終わっていたので、すごいと思いました。自分も3年生になったら、1・2年生を楽しませてあげられるような存在になりたいです。

（4組 女子）

## 「合唱コンクールを終えて」

僕にとって合唱コンクールは人生で初めての体験でした。そして、それと同時にクラスの中で団結力が出来ました。

まず練習の最初は、あまりみんな一人一人が声が出ていなくて、本当にこれで合唱コンクールの本番は大丈夫かな？と心配でした。しかし、練習していくうちに少しずつ心配しなくなってきて、逆に最初は男子の方が圧倒的に声が大きかったのに、女子の方が声が大きくなって、とてもビックリしました。そして最初にしていた心配も段々と自信に変わってきました。だから本番も僕は、堂々と自信を持って歌えました。結果的には優秀賞も最優秀賞も取れなかっただけれど、悔いが残らず歌えたので良かったです。

次に他の学年を見て思ったことは、声の大きさもそうだったけれど、本気で最優秀賞を取ってやろうと思う気持ちが、特に3年生から伝わってきました。3年生はこれが中学校最後の合唱コンクールなので、挑む気持ちは他の学年とは違うので、とても見（聴き）応えのある合唱でした。だから最初に優秀賞が呼ばれた3年生のクラスはとても悔しそうでした。だから本当に本気で最優秀賞を取りたかったのだなあ。と思いました。でも最後は3年生全員で仲良く合唱していたので、とても素晴らしいなあ！と思いました。僕も今の3年生のように本気で最優秀賞を取りたいと思える3年生になりたいです。

今回で合唱コンクールは人生で初めての体験だったけれど、とても楽しいものなのだなあ！と思える文化祭でした。演劇もとても素晴らしかったです。来年の文化祭も、とても楽しみです。  
(5組 男子)

## 「文化祭」

中学校になって初めての文化祭だったけれど、とても楽しい行事でした。  
初日の演劇の「リア王」は、バットエンドな展開の話だったけど、あれだけ役を生き生きとしていて「すごいな」と思いました。背景の絵や椅子などの道具に剣やなどの小道具もかなり手が込んでいて、とても完成度が高かったです。役者を集めてから1・2ヶ月で、ここまで出来たのはすごかったです。

合唱コンクールでの合唱は、5組としてはとても良い合唱だったと思います。リハーサルの様に歌詞を間違えることもなかったし、声が小さかったとか、音が合ってなかったとか、そんな感じの大きな声もなくて、自分達は大成功だったと思います。でも、2・3年生の合唱に比べたら、まだまだだと思いました。1年生の合唱は歌も良かったけれど、パフォーマンスを入れるクラスもあって、素晴らしかったです。3年生は歌 자체が伸びがあって良かったです。また、最後のエンディング時に、3年生が息の合ったパフォーマンスをしていて、とても団結力があるな！と思いました。3年生は最高の思い出になったと思います。

エンディングの時の3年生の様子は、とても良い人間関係がないと出来ないことだし、自分達も「あんな風になれたら良いな！」と思ったし、「あんな風にして卒業して行けたらなー」と思いました。  
(5組 女子)

## 「合唱コンクールでの出来事」

10月11日、合唱コンクールがありました。リハーサルでは、大きな声を出そうと歌詞を間違えてしまったので、当日は声を出して歌詞を間違えないように覚えてしまおうと思い、当日までに覚える様にしました。なので当日の朝練習では、歌詞を間違えずに歌うことが出来ました。当日のタントでは、多くのお客様が来て下さいました。1年生の部が始まりました。1年5組の出番は3番目で、1番目・2番目の人は大きな声を出して、綺麗な声を出していました。そして自分達の番になると、僕は緊張していました。大きな声を出して歌詞を間違えないように意識して歌いました。意識したこともあり、大きな声で歌詞を間違えずに歌い着ることが出来ました。他のクラスも大きな声を出して綺麗な声で歌っていました。

2年生や3年生は、1年生より倍近く大きな声で歌っていて綺麗な声でした。自分も来年は大きな声を出して歌っていきたいと思いました。1年5組は最優秀賞を目標に練習をしてきました。そしてその結果は、優秀賞は1年1組、最優秀賞は1年2組でした。残念ながら最優秀賞は取れませんでした。ですが、僕は悔いはありません。理由はリハーサルや色々な練習をしていた時よりも声が大きく、練習してきたことを発揮することが出来、1年5組全員が一生懸命歌うことが出来たと思うからです。だから、これからは文化祭での出来事や感じたことを活かしていくみたいです。  
(5組 男子)